

令和7年度第1回幕別町地域公共交通活性化協議会議案

【書面会議】

1 議 事

議案第1号 令和7年度幕別町地域公共交通活性化協議会予算(案)について

議案第2号 令和8年度幕別町地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助）
に係る計画認定申請について

2 報告事項

報告第1号 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について

報告第2号 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会事業報告について

報告第3号 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告及び
監査報告について

報告第4号 コミュニティバスの運行実績について

報告第5号 予約型乗合タクシーの運行実績について

3 そ の 他

【配付資料】

資料1 令和7年度 幕別町地域公共交通活性化協議会委員名簿

資料2 令和8年度幕別町地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助）に係る計
画認定申請（案）

議案第 1 号 令和 7 年度幕別町地域公共交通活性化協議会予算(案)について

歳 入

(単位：千円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減	摘 要
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	0	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	3,836	361	3,475	①国庫補助金 3,482 ②町補助金 354
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑入	0	0	0	
合 計			3,836	361	3,475	

歳 出

(単位：千円)

款	項	目	本年度 予算額	前年度 予算額	増減	摘 要
1 運営費	1 会議費	1 会議費	306	308	△2	①報酬 270 ②費用弁償 29 ③食糧費 7
	2 事務費	1 事務費	6	0	6	①振込手数料 3 ②金種指定手数料 3
2 事業費	1 事業費	1 事業費	3,524	53	3,471	①事業補助 3,482 ②修繕費 35 ③啓発費 7
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
合 計			3,836	361	3,475	

【説明】

○歳入

2 款 補助金、1 項-補助金

① 国庫補助金：町内を運行している公共交通事業に対する国からの補助金です。

従前はコミュニティバス、乗合タクシー（駒畠線、古舞線）の運行事業者（十勝バス株式会社、エイシン運輸有限会社、北斗タクシー有限会社）へ直接交付されていましたが、制度改正により令和 7 年度から一律、当協議会を経由して事業者へ交付することと変更されたことによるものです。

金額は確定前であるため、令和 6 年度の国庫補助上限額を記載しております。

② 町補助金：事業運営に係る町からの補助金です。

○歳出

1 款 運営費

1 項-会議費 協議会 2 回及び分科会 1 回の開催に係る報酬、費用弁償及びお茶代です。

2 項-事務費

① 振込手数料：国庫補助金を 3 事業者へ支払いする際の振込手数料です。

② 金種指定手数料：報酬・費用弁償を支給する際の金種指定手数料です。

2 款 事業費、1 項-事業費

① 事業補助：歳入で計上した国からの交付金を、運行事業者へ交付するものです。

② 停留所の消耗品交換・修繕に係る費用です。

③ 利用促進に係る啓発費用です。

議案第2号 令和8年度幕別町地域公共交通確保維持事業（フィーダー系統補助）に係る計画認定申請について

資料2のとおり。

【説明】

町コミュニティバス及び予約型乗合タクシーに係る令和8年度分(令和7年10月1日～令和8年9月30日)の事業計画について、資料2のとおり帯広運輸支局を通じ、国土交通大臣に提出するもの。

【補足】

○フィーダー系統とは、路線バス停留所や鉄道駅等の地域間交通ネットワークと接続する系統のことをいいます。本町ではコミバスと予約型乗合タクシーが該当します。

○事業計画を提出することにより、コミバス及び予約型乗合タクシーにおける補助対象経費の2分の1に相当する額以内を国庫から補助されるものです。ただし、各自治体ごとに上限額が設けられています。

※国への提出後に指摘事項が出てくることも想定されますが、その対応については、事務局に一任いただきたいと思います。

目標乗車人数

	令和7年度目標 (令和6年10月～令和7年9月計画) ※カッコ内はR6実績値	令和8年度目標 (令和7年10月～令和8年9月計画) ※今回目標設定分
コミバス	幕別線 36.5人/日 (44.9人/日) 札内線 66.8人/日 (88.4人/日)	幕別線 $26,198 \times 33.7\% \div 244日 = 36.2人/日$ 札内線 $26,198 \times 66.3\% \div 244日 = 71.2人/日$ ※計画中の令和7年度目標値である26,198人を令和6年度各路線の実績の割合で按分
タクシー	駒島線 2.6人/日 (2.9人/日) 古舞線 3.7人/日 (3.9人/日)	駒島線 $1,238 \times 40.0\% \div 187日 = 2.6人/日$ 古舞線 $1,238 \times 60.0\% \div 206日 = 3.6人/日$ ※計画中の令和7年度目標値である1,238人を令和6年度各路線の実績割合で按分し、過去3年の平均運行日数で除して算定

※令和5年7月に行ったダイヤ改正と運行エリアへの時刻表配布、高齢者等の運賃無償化により利用者数が増加したが、前述した要因による一時的な増加と捉えており、人口減少傾向に変わりはないため、計画策定時に設定した緩やかな利用者数増加を目標値とするものです。

報告第1号 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について

春の人事異動等により、各団体より委員として新たに推薦いただいたことにより次のとおり変更となるものです。令和7年度の委員構成は資料1のとおりとなります。

委員の変更について

5	所 属	役 職	氏 名
旧	十勝総合振興局帯広建設管理部事業室 地域調整課	課長	佐々木 昇
新		課長	日下 和雅

6	所 属	役 職	氏 名
旧	帯広警察署交通第一課	課長	堺 玄州
新		課長	高谷 政伸

7	所 属	役 職	氏 名
旧	十勝バス株式会社	旅客事業本部長	長沢 敏彦
新	十勝バス株式会社運輸営業部	部長	吉田 昌人

14	所 属	役 職	氏 名
旧	忠類地区町内会長代表	忠類本町公区長	及川 昇
新		栄町公区長	山崎 和夫

19	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町PTA連合会	会長	西山 直樹
新		会長	鳴海 走也

25	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町建設部	部長	小野 晴正
新		部長	河村 伸二

26	所 属	役 職	氏 名
旧	幕別町教育委員会教育部	部長	白坂 博司
新		部長	石田 晋一

【説明】

5、6、7、25、26 令和7年4月1日付各所属の人事異動によるものです。
14、19 団体の役員改選により新たに推薦いただいたことによるものです。
委員の任期は前任者の残任期間（令和8年1月23日まで）となります。

報告第2号 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会事業報告について

月 日	事業名	事業内容・協議事項等
令和6年 4月18日	第1回 協議会 (書面会議)	◇報告1 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更及び役員の指名について ○議案1 幕別町地域公共交通計画の策定について 2 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会予算(案)について
6月26日	第2回 協議会 (書面会議)	◇報告2 幕別町地域公共交通活性化協議会委員の変更について 3 令和5年度幕別町地域公共交通活性化協議会事業報告について 4 令和5年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告について 5 コミュニティバスの運行実績について 6 予約型乗合タクシーの運行実績について ○議案3 令和7年度幕別町地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統補助)に係る計画認定申請について
10月11日	第3回 協議会 (書面会議)	◇報告7 令和6年度幕別町地域内フィーダー系統確保維持計画変更届出書の提出について ○議案4 第50回衆議院議員総選挙投票期日前選挙期間中における投票者のコミュニティバス運賃後納及び休日運行の実施について 5 令和7年度幕別町地域公共交通確保維持事業(フィーダー系統補助)に係る計画の変更について
令和7年 1月10日	第4回 協議会	○議案6 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について 7 幕別町地域公共交通活性化協議会規約の改正について

※「フィーダー(feeder「支流」)系統」とは

地域間を運行する路線バスの停留所や鉄道駅から乗り継ぎし、支流として運行する地域公共交通(コミバス・予約型乗合タクシー)のこと。

報告第3号 令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算報告及び監査報告について

歳 入

(単位：円)

款	項	目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1 負担金	1 負担金	1 負担金	0	0	0	
2 補助金	1 補助金	1 補助金	361,000	100,875	△260,125	1 町補助金 100,875
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	0	0	0	
4 諸収入	1 諸収入	1 雑 入	0	205	205	1 預金利子 205
合 計			361,000	101,080	△259,920	

歳 出

款	項	目	予算額	決算額	増 減	摘 要
1 運営費	1 会議費	1 会議費	308,000	101,080	△206,920	1 報酬 78,000 2 費用弁償 22,200 3 食糧費 0 4 金種指定手数料 880
	2 事務費	1 事務費	0	0	0	
2 事業費	1 事業費	1 事業費	53,000	0	△53,000	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	0	0	0	
合 計			361,000	101,080	△259,920	

歳入合計 101,080円
 歳出合計 101,080円
 差引残額 0円

令和7年6月13日 提出

幕別町地域公共交通活性化協議会
 会長 伊藤 博明

令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会監査報告について

令和6年度幕別町地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について、令和7年6月10日に監査を行い、預金通帳、諸帳簿と決算書を照合した結果、いずれも適正であると認めます。

令和7年6月10日

監査委員 宮本 真由



監査委員 宮澤 清志



報告第4号 コミュニティバスの運行実績について

コミュニティバスの運行実績について、次のとおり報告する。

		R 3 年度 合計 246日間	R 4 年度 合計 251日間	R 5 年度 合計 247日間	R 6 年度 合計 241日間	R 6－R 5 の比較 －6日間	
幕別線	乗車人数	7,789人	7,926人	10,247人	ア 10,826人	オ 579人	
	1 日平均	31.7人	31.6人	41.5人	イ 44.9人	カ 3.4人	
	1 便平均	6.3人	6.3人	8.3人	ウ 9.0人	キ 0.7人	
	運賃収入	303,200円	276,900円	150,850円	エ 97,800円	－53,050円	
札内線	順周り	乗車人数	6,216人	7,952人	10,433人	11,653人	1,220人
		1 日平均	25.3人	31.7人	42.2人	48.4人	6.1人
		1 便平均	5.1人	6.3人	8.4人	9.7人	1.2人
		運賃収入	300,600円	380,400円	201,450円	156,400円	－45,050円
	逆周り	乗車人数	4,919人	6,072人	8,352人	9,646人	1,294人
		1 日平均	20.0人	24.2人	33.8人	40.0人	6.2人
		1 便平均	5.0人	6.0人	8.5人	10.0人	1.5人
		運賃収入	332,900円	372,550円	201,450円	151,450円	－50,000円
	計	乗車人数	11,135人	14,024人	18,785人	ク 21,299人	シ 2,514人
		1 日平均	45.3人	55.9人	76.1人	ケ 88.4人	ス 12.3人
		1 便平均	5.0人	6.2人	8.5人	コ 9.8人	セ 1.3人
		運賃収入	633,500円	752,950円	402,900円	サ 307,850円	－95,050円
合 計	乗車人数	18,924人	21,950人	29,032人	ソ 32,125人	テ 3,093人	
	1 日平均	76.9人	87.5人	117.5人	タ 133.3人	ト 15.8人	
	1 便平均	5.5人	6.2人	8.4人	チ 9.5人	ナ 1.1人	
	運賃収入	936,700円	1,029,850円	553,750円	ツ 405,650円	ニ －148,100円	

【説明】

幕別線の乗車人数実績は令和5年度比 表中オ欄のとおり 579人の増、
札内線の乗車人数実績は令和5年度比 表中シ欄のとおり 2,514人の増、
令和6年度の乗車人数合計は 表中ソ欄のとおり 32,125人となっており、
令和5年度比 表中テ欄のとおり 3,093人の増となりました。

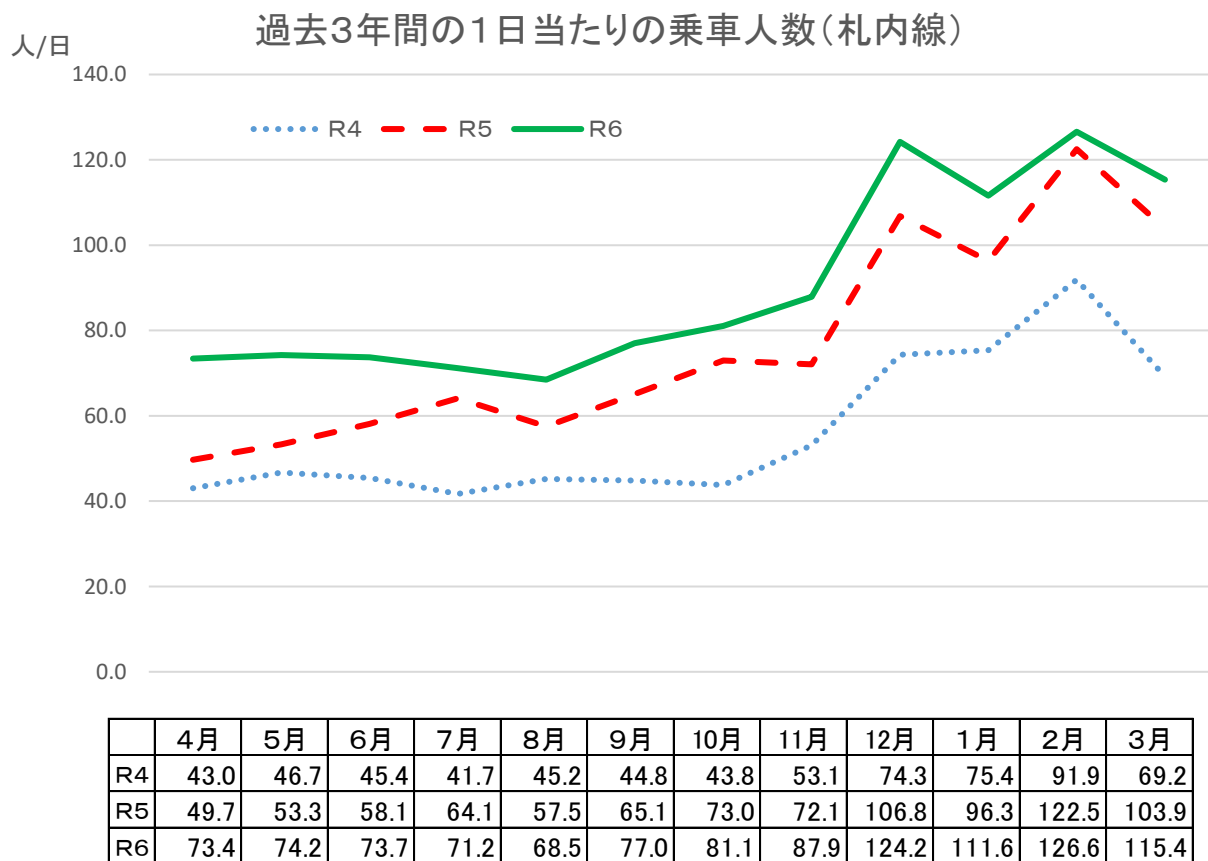
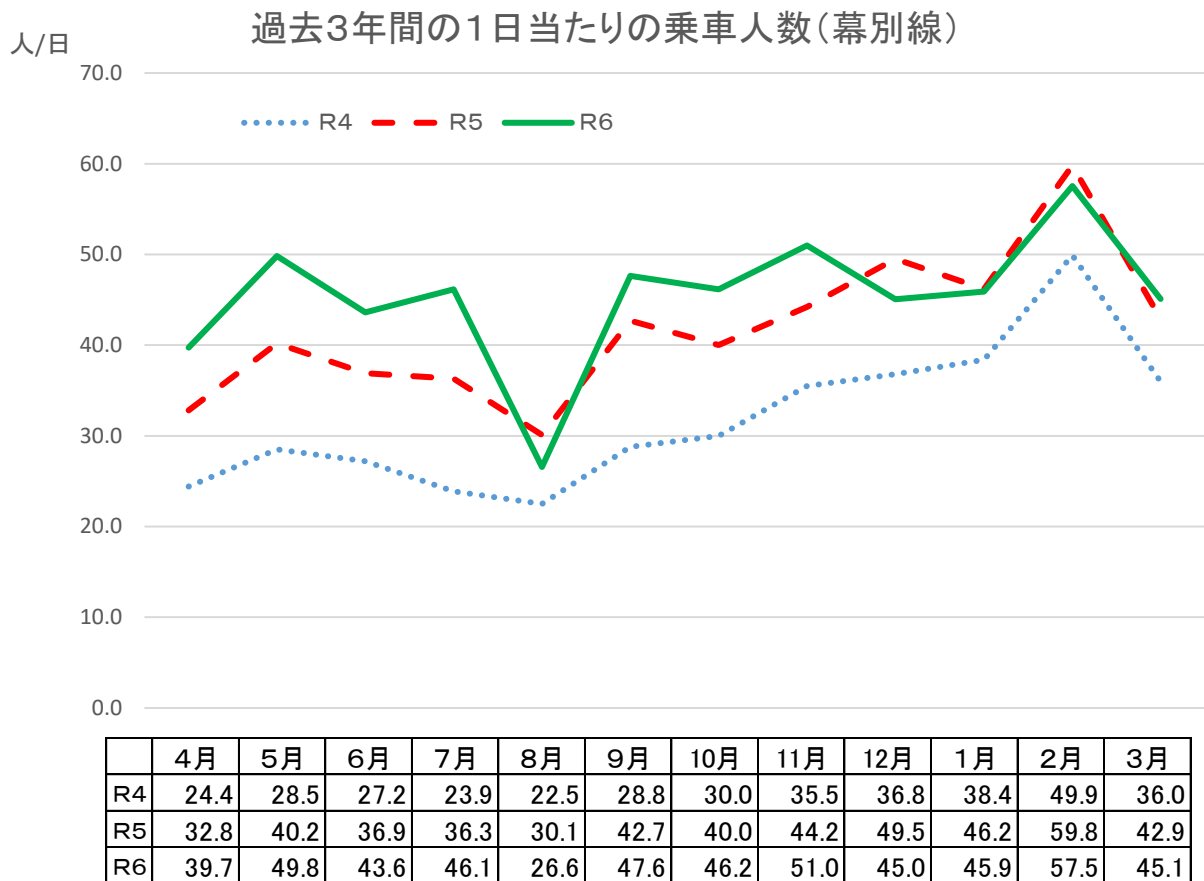
令和6年度の運賃収入は 表中ツ欄のとおり、年額で 405,650円となっており、
令和5年度比 表中ニ欄の通り 148,100円の減となっております。

コミュニティバスについては令和5年7月のダイヤ改正にあわせて市街地に時刻表を
配布し、広報紙に関連記事を掲載したほか、75歳以上の高齢者や65歳以上の運転免許返
納者の運賃を無償化しており、令和5年度から引き続き利用者数の増と、運賃収入の減
に至ったものと考えております。

なお、令和7年2月の大雪による運休により、運行の安全が確保できないことから、
幕別線では2/4から2/11までの5日間、
札内線では2/4から2/12までの6日間を運休としたところであります。

【参考】令和6年度 月別コミュニティバス運行実績

		R06. 4月 21日間	R06. 5月 21日間	R06. 6月 20日間	R06. 7月 22日間	R06. 8月 21日間	R06. 9月 19日間	124日間
幕別線	乗車人数	834人	1,046人	872人	1,015人	558人	905人	5,230人
	1日平均	39.7人	49.8人	43.6人	46.1人	26.6人	47.6人	42.2人
	1便平均	7.9人	10.0人	8.7人	9.2人	5.3人	9.5人	8.4人
	運賃収入	7,900円	5,200円	5,600円	8,800円	8,650円	8,500円	44,650円
札内線	順周り	乗車人数	816人	853人	760人	726人	767人	4,742人
		1日平均	38.9人	40.6人	38.0人	34.6人	40.4人	38.2人
		1便平均	7.8人	8.1人	7.6人	6.9人	8.1人	7.6人
		運賃収入	11,900円	12,000円	11,700円	11,550円	11,100円	71,300円
	逆周り	乗車人数	725人	706人	714人	712人	696人	4,299人
		1日平均	34.5人	33.6人	35.7人	33.9人	36.6人	34.7人
		1便平均	8.6人	8.4人	8.9人	8.5人	9.2人	8.7人
		運賃収入	8,700円	9,650円	9,700円	10,200円	11,900円	62,550円
	計	乗車人数	1,541人	1,559人	1,474人	1,566人	1,463人	9,041人
		1日平均	73.4人	74.2人	73.7人	71.2人	77.0人	72.9人
		1便平均	8.2人	8.2人	8.2人	7.9人	8.6人	8.1人
		運賃収入	20,600円	21,650円	21,400円	23,250円	23,450円	133,850円
合計	乗車人数	2,375人	2,605人	2,346人	2,581人	1,996人	2,368人	14,271人
	1日平均	113.1人	124.0人	117.3人	117.3人	95.0人	124.6人	115.1人
	1便平均	8.1人	8.9人	8.4人	8.4人	6.8人	8.9人	8.2人
	運賃収入	28,500円	26,850円	27,000円	32,050円	32,100円	32,000円	178,500円
		R06. 10月 24日間	R06. 11月 20日間	R06. 12月 21日間	R07. 1月 19日間	R07. 2月 13日間	R07. 3月 20日間	117日間
幕別線	乗車人数	1,108人	1,020人	946人	872人	748人	902人	5,596人
	1日平均	46.2人	51.0人	45.0人	45.9人	57.5人	45.1人	47.8人
	1便平均	9.2人	10.2人	9.0人	9.2人	11.5人	9.0人	9.6人
	運賃収入	8,350円	5,700円	12,200円	6,200円	11,050円	9,650円	53,150円
札内線	順周り	乗車人数	1,007人	982人	1,524人	1,281人	897人	6,911人
		1日平均	42.0人	49.1人	72.6人	67.4人	74.8人	59.1人
		1便平均	8.4人	9.8人	14.5人	13.5人	15.0人	11.8人
		運賃収入	11,800円	14,400円	16,650円	12,750円	11,150円	85,100円
	逆周り	乗車人数	939人	776人	1,084人	839人	622人	5,347人
		1日平均	39.1人	38.8人	51.6人	44.2人	51.8人	45.7人
		1便平均	9.8人	9.7人	12.9人	11.0人	13.0人	11.4人
		運賃収入	12,850円	10,350円	15,000円	19,800円	11,200円	88,900円
	計	乗車人数	1,946人	1,758人	2,608人	2,120人	1,519人	12,258人
		1日平均	81.1人	87.9人	124.2人	111.6人	126.6人	104.8人
		1便平均	9.0人	9.8人	13.8人	12.4人	14.1人	11.6人
		運賃収入	24,650円	24,750円	31,650円	32,550円	22,350円	174,000円
合計	乗車人数	3,054人	2,778人	3,554人	2,992人	2,267人	3,209人	17,854人
	1日平均	127.3人	77.1人	169.2人	157.5人	182.8人	160.5人	152.6人
	1便平均	9.1人	9.9人	12.1人	11.2人	13.1人	11.5人	10.9人
	運賃収入	33,000円	30,450円	43,850円	38,750円	33,400円	47,700円	227,150円



○コミバスに係る経費等の推移

【令和4年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	運行費	車両費		
コミバス(幕別線)	5,107	0	409		327	4,371
コミバス(札内線・順回り)	5,797	0	1,114		430	4,253
コミバス(札内線・逆回り)	6,246	4,283	1,114	830	423	8,162
計	17,150	4,283	2,637	830	1,180	16,786
合 計	21,433		3,467		1,180	16,786

【令和5年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	運行費	車両費		
コミバス(幕別線)	6,271	0	323		201	5,747
コミバス(札内線・順回り)	6,158	0	893		252	5,013
コミバス(札内線・逆回り)	6,253	2,142	894	817	251	6,433
計	18,682	2,142	2,110	817	704	17,193
合 計	20,824		2,927		704	17,193

【令和6年度】

(千円)

	総経費		国庫補助		運賃・ 広告 収入等	町費補助
	運行費	車両費	運行費	車両費		
コミバス(幕別線)	6,693		463		148	6,082
コミバス(札内線・順回り)	7,542		1,364		206	5,972
コミバス(札内線・逆回り)	7,073		1,364		202	5,507
計	21,308	0	3,191	0	556	17,561
合 計	21,308		3,191		556	17,561

【説明】

令和6年度においては、幕別線、札内線の総経費合わせて21,308千円に対し、運賃や広告収入を差し引いた表の右端17,561千円が町からの補助となっております。

町補助金が増加している主な理由として、車両の老朽化による修繕費の増、令和5年7月から開始した高齢者等運賃の無償化による運賃収入の減少が要因となっております。

報告第5号 予約型乗合タクシーの運行実績について
令和6年度の予約型乗合タクシーの運行実績について、次のとおり報告する。

【駒島線】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行可能日数		21日	21日	20日	22日	21日	19日	22日	20日	21日	19日	18日	20日	244日
運行日数		15日	17日	16日	16日	15日	16日	17日	16日	19日	13日	14日	12日	186日
運行回数		25回	29回	30回	31回	29回	26回	31回	25回	40回	26回	23回	19回	334回
利用者数		36人	49人	51人	55人	50人	47人	47人	42人	66人	37人	29人	27人	536人
運行率（日数）		71.4%	81.0%	80.0%	72.7%	71.4%	84.2%	77.3%	80.0%	90.5%	68.4%	77.8%	60.0%	76.2%
運行率（回数）		23.8%	27.6%	30.0%	28.2%	27.6%	27.4%	28.2%	25.0%	38.1%	27.4%	25.6%	19.0%	27.4%
便当たり乗車人数		1.4人	1.7人	1.7人	1.8人	1.7人	1.8人	1.5人	1.7人	1.7人	1.4人	1.3人	1.4人	1.6人
運賃収入		7,600円	11,300円	11,600円	12,100円	10,700円	9,600円	11,400円	9,100円	15,300円	9,600円	7,100円	5,100円	120,500円
運行回数（回）	1便	5	4	4	3	3	2	4	2	6	4	4	2	43
	2便	14	16	16	16	15	15	16	15	17	12	11	11	174
	3便	4	8	6	6	6	5	6	3	9	6	7	2	68
	4便	1		3	4	2	3	2	4	5	3	1	3	31
	5便	1	1	1	2	3	1	3	1	3	1		1	18
	計	25	29	30	31	29	26	31	25	40	26	23	19	334
利用者数（人）	1便	6	4	4	3	4	2	5	2	7	4	4	2	47
	2便	22	32	33	37	34	33	30	31	37	20	17	19	345
	3便	6	12	9	9	7	8	7	3	13	9	7	2	92
	4便	1		4	4	2	3	2	5	6	3	1	3	34
	5便	1	1	1	2	3	1	3	1	3	1		1	18
	計	36	49	51	55	50	47	47	42	66	37	29	27	536
利用者内訳（人）	大人					1	2							3
	高齢者	34	41	49	49	43	41	39	34	54	30	21	22	457
	障がい者	2	8	2	6	6	4	8	8	12	7	8	5	76
	小中学生													
	乳幼児													
	計	36	49	51	55	50	47	47	42	66	37	29	27	536
利用地区内訳（人）	豊岡													
	猿別						1							1
	軍岡													
	大豊													
	明野	6	9	7	9	6	8	6	2	16	6	7	5	87
	新川													
	相川	14	14	19	20	23	19	16	21	17	8	6	12	189
	南勢	2	2	2	2	2	2	1		4	2		2	21
	新和	2	6	4	4	4	3	4	4	2	3	3	1	40
	五位													
	糠内													
	明倫													
	美川	4	9	5	10	9	6	11	10	16	12	10	7	109
	中里	8	7	12	10	5	8	7	5	11	6	3		82
	駒島		2	2		1		2						7
弘和														
計	36	49	51	55	50	47	47	42	66	37	29	27	536	

○運行実績の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6-R5比較
運行可能日数	245日	244日	244日	
運行日数	195日	180日	186日	6日
運行回数	343回	313回	334回	21回
利用者数	518人	475人	ア 536人	61人
1日当たり乗車人数	2.7人	2.6人	2.9人	0.3人
便当たり乗車人数	1.5人	1.5人	1.6人	0.1人
運行率(日数)	79.6%	73.8%	76.2%	2.4%
運行率(回数)	28.0%	25.7%	イ 27.4%	1.7%
運賃収入	104,100円	105,700円	120,500円	14,800円

○経費等の推移（千円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6-R5比較
運行経費	2,908	2,768	ウ 3,046	278
国庫補助	131	106	160	54
運賃収入	104	106	121	15
町費補助	2,673	2,556	エ 2,765	209

【説明】
令和6年度においては、利用者数がア欄の536人で前年度から61人の増。運行回数から算出した運行率はイ欄の27.4%であり、前年度から1.7ポイントの増となっております。経費については令和6年度 運行経費ウ欄の3,046千円に対し、国庫補助、運賃収入を差し引いたエ欄の2,765千円を町から補助しております。

コロナ禍における外出自粛の影響により令和2年度以降大きく利用が減少していましたが、令和6年度は回復傾向となりました。町民の重要な移動手段として、引き続き利用促進に向け、周知に努めます。

【古舞線】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運行可能日数	21日	21日	20日	22日	21日	19日	22日	20日	21日	19日	18日	20日	244日
運行日数	20日	15日	17日	21日	18日	17日	18日	20日	17日	14日	13日	17日	207日
運行回数	57回	39回	41回	48回	50回	43回	39回	40回	43回	34回	36回	45回	515回
利用者数	74人	66人	65人	73人	75人	63人	66人	64人	70人	68人	52人	66人	802人
運行率（日数）	95.2%	71.4%	85.0%	95.5%	85.7%	89.5%	81.8%	100.0%	81.0%	73.7%	72.2%	85.0%	84.8%
運行率（回数）	54.3%	37.1%	41.0%	43.6%	47.6%	45.3%	35.5%	40.0%	41.0%	35.8%	40.0%	45.0%	42.2%
便当たり乗車人数	1.3人	1.7人	1.6人	1.5人	1.5人	1.5人	1.7人	1.6人	1.6人	2.0人	1.4人	1.5人	1.6人
運賃収入	10,000円	10,000円	9,300円	9,400円	9,300円	8,800円	9,600円	9,600円	10,500円	9,200円	8,200円	8,600円	112,500円
運行回数（回）	1便	5		4	9	4		2	3	1		4	32
	2便	19	15	15	17	15	16	18	15	13	13	16	189
	3便	18	13	14	18	16	16	13	16	11	13	13	176
	4便	5	6	6	6	4	6	6	8	7	9	7	76
	5便	10	5	6	3	4	3	1	1	2	1	5	42
	計	57	39	41	48	50	43	39	40	43	36	45	515
利用者数（人）	1便	5		5	9	5		3	3	1		4	35
	2便	28	31	30	27	27	31	27	30	31	22	26	336
	3便	21	17	19	29	26	19	20	19	22	15	22	249
	4便	5	11	6	6	6	7	14	14	12	14	9	120
	5便	15	7	10	6	7	6	1	1	2	1	5	62
	計	74	66	65	73	75	63	66	64	70	68	66	802
利用者内訳（人）	大人			1		1		8	3				13
	高齢者	62	61	62	57	53	55	63	52	65	49	53	693
	障がい者	12	5	3	15	22	7	3	4	3	3	13	96
	小中学生												
	乳幼児												
	計	74	66	65	73	75	63	66	64	70	68	66	802
利用地区内訳（人）	途別												
	上稲士別												
	日新	24	17	16	28	35	14	10	21	20	23	9	241
	昭和												
	依田									5		2	7
	西和												
	千住	29	24	27	27	25	27	31	25	28	20	24	315
	稲士別												
	新生												
	中稲士別												
	豊岡				2		2			2		2	8
	新和	16	16	16	12	12	16	20	12	12	12	8	152
	古舞	3	5	3	4	3	3	3	3	3	3	2	38
	明倫	2	4	3			1	2	3	7	3	8	41
	美川												
	計	74	66	65	73	75	63	66	64	70	68	66	802

○運行実績の推移

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6-R5比較
運行可能日数	245日	244日	244日	
運行日数	210日	203日	207日	4日
運行回数	504回	501回	515回	14回
利用者数	696人	736人	ア 802人	66人
1日当たり乗車人数	3.3人	3.6人	3.9人	0.3人
便当たり乗車人数	1.4人	1.5人	1.6人	0.1人
運行率(日数)	85.7%	83.2%	84.8%	1.6%
運行率(回数)	41.1%	41.1%	イ 42.2%	1.1%
運賃収入	107,600円	101,800円	112,500円	10,700円

○経費等の推移（千円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	R6-R5比較
運行経費	2,990	3,146	ウ 3,374	228
国庫補助	119	71	131	60
運賃収入	108	102	113	11
町費補助	2,763	2,973	エ 3,130	157

【説明】
令和6年度においては、利用者数がア欄の802人で前年度から66人の増。
運行回数から算出した運行率はイ欄の42.2%であり、前年度から1.1ポイントの増となっております。
経費については令和6年度 運行経費ウ欄の3,374千円に対し、国庫補助、運賃収入を差し引いたエ欄の3,130千円を町から補助しております。

コロナ禍における外出自粛の影響により令和2年度以降大きく大きく利用が減少していましたが、令和6年度は回復傾向となりました。
町民の重要な移動手段として、引き続き利用促進に向け、周知に努めます。

3 その他

令和7年度の予定について

(1) 地域公共交通計画で策定した施策の実施、進捗管理について

- ・毎年度、時季を変更しコミュニティバスの乗り込み調査を実施いたします。
- ・公共交通の利便性向上についての検討を進めます。

(令和7年度はコミュニティバスへのフリー降車制度、割引制度の拡充などの検討)

※幕別町地域公共交通計画の進捗管理については、第2回会議において行います。

(2) 会議の開催について

今年度は運行経路が変更となる大幅なダイヤ改正などは予定しておりませんが、フリー降車制度の試行など、運賃に係る協議が必要になる場合は、運賃協議のための分科会を開催するほか、12月～1月頃に令和7年度幕別町地域内フィーダー系統確保維持計画についての事業評価を行うため、協議会を開催する予定です。

(3) 期日前選挙期間中における投票者のコミュニティバス運賃後納の実施等について

町選挙管理委員会から、選挙における投票率向上を目的として、令和7年7月20日執行予定の第27回参議院議員通常選挙投票期日前投票期間中のコミュニティバスについて次のとおり要請がありました。

- ・投票のためにコミュニティバスを利用した方の運賃を無償化

期日前投票期間の運賃については、従前から、協議会での協議を経て、利用者は運賃無償とし、後日、町選挙管理委員会から利用者数に応じて運賃を後納するとして実施していたところであります。

この度、選挙による運賃の無償化は、「運賃の第三者補填」という整理となり、運賃の変更に該当しないことから協議会の決定や運輸局への届出が不要であると確認できましたことから、今後、協議事項から除く取扱いといたしました。

なお、フィーダー計画の変更が必須となっておりました選挙投票日までの間の休日運行に関しては、本年から選挙管理委員会において柔軟に運行できるよう、直接運行事業者である十勝バス㈱と契約し、無償で運行することと計画されていますことから、こちらも当協議会での協議事項から除くことと整理しております。